

# 札幌市産業振興センター 及び ICC（インタークロス・クリエイティブ・センター）の 機能拡充について

---

札幌市経済観光局

一般財団法人さっぽろ産業振興財団

# 背景

○札幌市産業振興センターは、平成14年に創業支援など市内産業の振興を担う中核施設として供用を開始し、平成25年にはクリエイティブ産業振興の拠点であったI C C（インタークロス・クリエイティブ・センター）の機能が追加され今に至っています。

○しかし、人口減少や少子高齢化、グローバル化の進行、自然災害や新たな感染症の発生、脱炭素社会への気運の高まりや、近年におけるスタートアップやデザイン経営などの新たな概念の登場など、施設を設置してからの本市産業を取り巻く社会的・経済的な環境は、大きく様変わりしているところです。

○本市では第3次産業の割合が高く、付加価値が低い産業構造を有しているなどの特徴を有していることから、持続的に本市産業を発展させていくべく、これからは、センターの持つ強みである「クリエイティブ産業支援」と「創業支援」の機能を活かしながら、より幅広い分野や業種による連携・交流を促すことで、「企業が生み出す付加価値の向上」に繋げていきたいとの考えの下、センターの機能拡充を行います。



# 機能拡充の概要・コンセプト

SPRとCRを統合し、  
「SAPPORO BUSINESS VILLAGE」へとレベルアップ

■ SPR（スタートアップ・プロジェクトルーム）とCR（クリエイティブルーム）を統合し、従来の入居対象者であった創業間もない事業者やクリエイティブ産業関連事業者はもとより、これから新事業を開始しようと考えている事業者の方や、札幌に進出する市外企業の方にも利用いただけるスペースにレベルアップします。



ICCクロスガーデンの機能を拡充し、  
「SAPPORO BUSINESS HUB」へとレベルアップ

■ クロスガーデンの機能を拡充し、クリエイティブ産業をはじめとした、幅広い業種・業態のビジネスを行う方々が利用できるスペースとし、より多くの方がビジネスを通じた交流・連携を行うことができる場へとレベルアップします。



# ～SPRとCRの統合～ 「SAPPORO BUSINESS VILLAGE」

## 01.概要

これまで、両スペースは入居要件を別個に設けていましたが、令和5年度からこれらを統合し、入居要件を統一します。

## 03.支援体制の強化

これまで、SPRではIMによる入居者支援、CRではコーディネータやアドバイザーによるプロジェクト支援と、それぞれ別個に支援を行ってきたところです。

これからは、支援体制を統一し、財団の専門性を活かしながら、入居企業の成長を強力に支援していきます。

## 02.入居要件・入居期間

統合後の入居要件は以下の①～⑤のいずれかに該当し、かつ札幌市の産業振興に寄与すると認められる事業を行い、又は行おうとする方です。最長の入居期間は3年に統一します。

- ①法人設立／事業開始後5年以内の方
- ②これから事業を始めようとしている個人の方
- ③既に事業を行っている法人／個人の方で、これから新しい事業を始めようと考えている方
- ④市外で事業を行っている法人／個人で、札幌市内への事務所設置／事業進出を検討している方
- ⑤その他特に成長が見込まれる事業を開始し、又は現に行っている法人／個人の方。

## 04.現在入居されている方について

現在入居されている方については、従前と同じ条件の下で引き続き入居いただくことができます。

- 入居期限も現在許可を受けている内容から変わりありません。
- 入居期間の更新を検討されている場合も、従前と同じ手続・要件の下で更新の申請をいただけます。

(※)

## 05.今後の展開

○ 支援チームには経験豊富なIMを登用し、財団のもつネットワークを活用しながら、入居者の成長を後押ししてまいります。

○ SAPPORO BUSINESS HUBでの事業ピッチ、各種セミナー・イベントなどとも連携した、様々な支援も展開してまいります。

※ 一度退去し、再度入居される場合は新規入居の取扱いとなるため、変更後の要件の下での入居審査となります。

# ～ICCクロスガーデンの拡充～ 「SAPPORO BUSINESS HUB」

## 01.概要

クリエイティブ産業をはじめとした、幅広い業種・業態のビジネスを行う方々が利用できるスペースとし、より多くの方がビジネスを通じた交流・連携を行うことができる場へとレベルアップします。

## 02.利用条件

○ これまでのクリエイターの方に加え、個人事業主、企業経営者、企業等に雇用される労働者、起業に関心のある方など、ビジネスに携わる方が幅広くご利用いただけます。

## 03.スペースの雰囲気

○ 仕事、打ち合わせ、商談、情報収集等を気軽に行うことができるオープンスペースとして、場所を整えていきます。IMのいる時間は議論や相談も可能です。

○ 利用者同士のコミュニケーションが図られるような工夫も行っています。

## 04.登録クリエイターの方々について

○ 現在登録されているクリエイターの皆様も引き続きご利用いただけます。

○ 今後もクリエイティブを活用したビジネス支援を展開していく考えですので、引き続きクリエイターの方々には施設を活用いただけますと幸いです。

## 05.今後の展開

○ 中小企業を対象としたデザイン導入講座など、クリエイティブを活用した企業支援を展開してまいります。

○ ビジネスに関心を持つ市民や学生など、多くの人たちが気軽に訪れることができるような運用を行います。これらの方々がクリエイティブ作品やIT技術に触れられる機会を提供することで、利用者が体験的・視覚的な経験を得られるよう工夫します。



# おわりに

---

これまでの支援は引き続き継続していきつつ、皆様のビジネス展開に資する取組をどんどん拡充してまいりたいと思っておりますので、引き続き皆様のご意見・ご協力を頂戴できますと幸いです。